改訂日:平成 23 年 3 月 2 日

製品安全性データシート

1.【製品及び会社情報】

カタログ番号 212292
製品名 BD BBL™ ペニシリン無添加マイコプラズマエンリッチメント
(BD BBLTM Mycoplasma Enrichment without Penicillin lyophilized)
会社名 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
住所 東京都港区赤坂 4 丁目 15 番 1 号
連絡先 0120-8555-90 利用可能時間:9:00 – 17:00(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)
使用上の制限 研究用試薬

2.【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	データなし
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分2
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない

	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

シンボル

注意喚起語 **危険**

危険有害性情報 飲み込むと生命に危険

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き

安全対策
- ・適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・使用前に取扱説明書を入手し熟読すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。
- ・使用中に吸入されうる粒子が発生するかもしれない場合は、ミストを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置
- ・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ばく露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- ・吸入により気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が持続する場合には、医師の判断、手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

保管
- ・涼しく換気の良いところで保管すること。
- ・密閉性の容器にて保管すること。
- ・施錠して保管すること。

廃棄
- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3.【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物　劇物

化学名または一般名	濃度(%)	CAS 番号	化審法	毒劇法	安衛法	化管法
酢酸タリウム Thallium Acetate	0.1-0.2	563-68-8	(2)-2125	劇物	通知対象	第2種

4.【応急処置】

吸入した場合 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合	口をすすぐこと 安静にして直ちに医師の判断を受けること。
予想される急性症状および遅発性症状	データなし。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5.【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	特定していない。
特有の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合には、容器および周囲に散水して冷却する。消火作業は可能な限り川上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	適切な呼吸器保護具を着用する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具(「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 密閉された場所に立入る前に換気する。 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	漏出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。
回収・中和	可能な限り密閉できる空容器に回収する。回収後に廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の喚起を行うこと。 取扱い後に手・顔等をよく洗い、うがいをする。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。 環境への放出を避けること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策	耐腐食性の内張りがされている適切な容器で貯蔵すること。
混触禁止物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件	容器は密閉して換気の良い冷暗所に保管する。

耐腐食性、耐腐食性内張りのあるもの、又は適切な材料の容器で保管すること。
保管室の温度を 15～30℃にすること。
施錠して保管すること。

容器包装材料　国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8.【暴露防止及び保護措置】

管理濃度　酢酸タリウム　未設定
（作業環境評価基準）
許容濃度
日本産業衛生学会　未設定
ACGIH　TWA 0.1mg/m3、STEL　未設定
発がん性評価　データなし

設備対策　この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器、安全シャワー、手洗いを設置すること。
高熱取扱いで、工程でミストが発生するときは、換気装置を設置する。

保護具
呼吸器の保護具　適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具　状況に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用すること。
眼の保護具　安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護具　適切な顔面用の保護具・保護衣を着用すること。
状況に応じて、不浸透性保護前掛け、長袖保護服、保護長靴などの保護具を着用すること。

衛生対策　眼、皮膚、衣類に付けない。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
この製品を使用する時に、飲食および喫煙をしない。
取扱い後は顔や手をよく洗う。

9.【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	液体
臭い	特徴的な臭い
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼範囲　下限・上限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度（空気＝1）	データなし
比重（密度）	データなし
溶解度	
水	可溶
有機溶剤	多くの有機溶媒に可溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし

10.【安定性及び反応性】

製品としての有害性情報がないため以下、塩化水素の安定性及び反応性情報を記載する

安定性　通常の取扱条件において安定である。

危険有害反応可能性　データなし
避けるべき条件　日光、熱との接触
混触危険物質　データなし
危険有害な分解生成物　データなし

11.【有害性情報】

製品としての有害性情報がないため以下、酢酸タリウムの有害性情報を記載する

急性毒性

経口	41.3mg/kg(ラット　LD_{50})
経皮	データなし
吸入	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データなし
生殖毒性	ラット及びマウスに、胎児の体重減少や肋骨・脊椎の奇形が見られ(EHC 182(1996))、また、ラット胎児に菌骨格系の以上が見られたとこの記述がある(PATTY(5th, 2001))ことから、区分 2 とした。
特定標的臓器／全身毒性(単回)	Priority 1(PATTY(5th, 2001))において、症例数は少ないものの末梢神経障害を引き起こすとの記述があるため区分1(神経系)とした。また、ラットに対して経皮吸収の結果脱毛が起こるとの記述(ACGIH(7th, 2001))があるが、ガイダンス値に照らし合わせることができないため、区分2(毛(脱毛症))とした。
特定標的臓器／全身毒性(反復)	Priority 1(PATTY(5th, 2001))の文書中、症例数は少ないもののヒトに対して神経障害を起こしたという記述があるため、区分1(神経系)とした。また Priority 1(PATTY(5th, 2001), IRIS(1990))の文書中、区分2への分類を助けるガイダンス値の範囲で、ラットに対し脱毛の症状が見られるため、区分2(毛(脱毛症))とした。
吸引性呼吸器有害性	データがないため分類できない。

12.【環境影響情報】

製品としての有害性情報がないため以下、酢酸タリウムの環境影響情報を記載する

生態毒性

急性・魚類	魚類(トウゴロウイワシ)の 96 時間 LC50=31000 μg/L(AQUIRE、2003)から、区分 3 とした。
慢性・魚類	急性毒性が区分 3、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分 3 とした。
急性・甲殻類	データなし*1
急性・藻類	データなし*1
残留性・分解性	データなし*1
生体蓄積性	データなし*1

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物　廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険

有害性のレベルを低い状態にする。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装　容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14.【輸送上の注意】

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
国連番号	2810(その他の毒物、液体、有機物、他に品名が明示されていないもの)
Proper Shipping Name	Toxic, liquids, organic, n.o.s. or Toxic, liquids, organic, n.o.s. Inhalation Hazard, Packing Group I, Zone A or B
Class	6.1
Packing Group	Ⅲ
Marine Pollutant	N/A
航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。

国内規制

陸上規制情報	毒劇法の規則に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
国連番号	2810
品名	酢酸タリウムを含有する製剤
クラス	6.1
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	非該当

特別安全対策　輸送前に容器の破損、腐蝕、漏れなどのないことを確かめる。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
運搬中に事故が発生した場合、その旨を直ちに保健所・警察署または消防機関に届出ると共に製造業者、荷送人等関係先に至急連絡をとり、指示を仰ぐこと。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物のそばに積載しない。
重量物を上積みしない。
輸送時にイエローカードを携帯する。

15.【適用法令】

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号:9-335)
化管法	第2種指定化学物質(法第2条第3項、施行令第2条別表第2)(政令番号:2-44)
毒物及び劇物取締法	劇物(指定令第2条)(政令番号:30-4)
消防法	対象外
船舶安全法	毒物類・毒物

航空法	毒物類・毒物
港則法	毒物類・毒物

16.【その他の情報】

参考文献

NITE 総合検索
CHEMWATCH GHS-MSDS (2008)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。